

# ジュニアコーラスの祭典 in ほくと

～文化輝く北の杜 ジュニアからつながる ふるさと日本の歌声～



## 1) 児童合唱を通じた交流と技術向上

山梨県で国民文化祭が開催されることを契機に、県下の児童合唱を楽しむ仲間が一堂に会し、相互の交流と合唱技術の向上を図るために少年少女合唱祭がやまなし県民文化祭として平成 22 年度に開催されました。県の合唱連盟と本市で活躍する児童合唱団の指導者のつながりを介し、児童合唱の普及や活性化を目的とし「ジュニアコーラスの祭典 in ほくと」を国民文化祭北杜市主催事業と位置付けました。

やまなし県民文化祭と  
第3回少年少女合唱祭との併催事業

## 2) 心温まる手作りのコンサート (H24年プレ事業)

市内・県内への合唱の普及や活性化を図るため、合同合唱を主体に、子供たちが仲良く交流できること、市内に宿泊し北杜市の良さに気付いてもらうことをテーマに、本大会を見据えた2日間のプレ事業を検討することになりました。

児童合唱団の交流と技術向上を目的に、国民文化祭で披露するための合同合唱曲・組曲の制作を、合唱曲の作詞、作曲などで活躍されている唐沢史比古氏に依頼しました。その結果、市内・県内の民謡やわらべうたを参考に「子どもが気持ちよく歌え楽しい時間を過ごす」ことを趣旨に制作がなされ、地域のメロディが豊かに織り込まれた曲が仕上がりました。

プレ事業に携わるたくさんのスタッフに迎えられ、子供たちは、日ごろの練習成果を発表することができました。

7月28・29日：ジュニアコーラスの祭典 in ほくと：520名参加



《市内中学校での練習》



《各団による合同合唱の練習》



《懇親を深める指導者》



《交流を深めるアトラクション》

《合同演奏による組曲初披露「杜とこどもたち」》



《ボランティアスタッフ》



《名刺交換》



《児童合唱》



### 3) ジュニアの歌声が世界へつながる (H25 年本大会)

プレ事業で深まった絆とさらなる交流を求め、県外の団体や海外の団体(YPC)を加え心温まる手作りコンサート「ジュニアコーラスの祭典 in ほくと」を開催しました。

合唱の普及と活性化を目的に、知恵と工夫を重ねてきた今大会は、県内7つの合唱団で構成された、「SKY FOMA Choir」の結成や、共に心を合わせて歌う様子を全国世界に共有するための「U ストリーム」(インターネット放送)など趣向を凝らし、子供たちが美しい音楽を創造する大会となりました。

子供たちが集う交流会場は、北杜市の新鮮野菜を余すことなく使った、市民ボランティアによるおいしい料理、市内で活躍する「北の杜吹奏楽団」の演出など友達の輪が広がる良い舞台になりました。また、県外の多くのみなさまに市内のペンションなど宿泊施設に泊まっていたいただきました。

8月5・6日：ジュニアコーラスの祭典 in ほくと：3,325名参加



《ボランティアスタッフ》



《本番に向けた合同練習》



《県内外の児童合唱団》



《SKY FOMA Choir による組曲披露》



《コーラスの楽しさを表現した YPC》



《高原野菜いっぱい夕食 交流会場》



《市民ボランティア》



《友達の輪を広げた名刺交換》

【YPC：ヤングピープルズコーラス オブ ニューヨークシティ】

【SKY FOMA Choir：各合唱団の名前の頭文字】

### 4) 児童合唱のさらなる向上へ

世界レベルのコーラスを間近に体感し、市・県内外合唱団の技術向上が達成できた「ジュニアコーラスの祭典 in ほくと」は、子供たちのもつ素晴らしい歌声の力を再確認する機会となりました。

本大会で芽生えた絆を拡大・発展させていくため、参加した子どもが大人になっても継続されているような大会を今後は目指していきます。